

令和5年度行政事業レビューシート (デジタル庁)

事業名	フロントサービスAPI基盤			担当部局	国民向けサービスグループ	作成責任者	
事業開始年度	令和4年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	フロントサービスAPI基盤	参事官 宮西 健至	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	デジタル社会形成基本法第27条～第30条			関係する 計画、通知等	デジタル社会実現に向けた重点計画(令和5年6月9日閣議 決定)		
政策	情報通信技術等の適正・効率化に関する施策の推進			主要経費	その他の事項経費		
施策	情報システムの整備						
政策体系・評価書URL	https://www.digital.go.jp/policies/assessment/						
事業の目的 (5行程度以内)	本事業は、行政手続のポータルサイトであるマイナポータルや各種の電子申請システムが共通的に必要とする機能を提供する基盤「フロントサービスAPI基盤」を整備することによって、国民がマイナンバーカードを用いてオンラインで行政手続を行う際の利便性向上や行政機関職員の事務効率化を実現することを目的とする。フロントサービスAPI基盤は、ガバメントクラウドを活用した情報連携基盤である公共サービスメッシュと連携し、利用者が手続を行う際に自治体等の行政機関が保有する情報によって申請内容がプレ表示される機能や、関連する手続がプッシュで推奨される機能等を提供する。						
現状・課題 (5行程度以内)	国民が市区町村等の行政機関に提出する申請・届出については、マイナポータルや各種電子申請システムを通じたオンライン提出が可能となっているが、利用者自らが申請時に住所・氏名・連絡先や申請内容の各項目を入力する必要があり、手続に時間を要する原因となっている。オンライン申請に要する時間の短縮や利便性の向上のためには、UX/UIの継続的な見直しを行うとともに、行政機関が保有する情報や利用者が任意で登録した情報を活用して申請内容をあらかじめ表示するなど、手続時の入力を最小限にする仕組みの整備が必要である。						
事業概要 (5行程度以内)	本事業では、公共サービスメッシュと連携して行政機関が保有する情報をオンライン申請で活用する機能や、行政機関職員の申請受付や審査の業務を支援する機能を整備することとしている。 実施内容は、①APIカタログサイト、②住民向け汎用電子申請サービス、③ユーザーデータ登録機能及び新たな自己情報取得機能、④行政機関等向け申請管理サービス、⑤申請情報プレ表示機能、⑥同意機能、⑦代理機能の7つである。 このうち、①～⑤については、令和5年度からシステムの設計・開発(プロトタイプ構築及びPoCを含む)を実施するとともに、令和6～7年度に追加開発を実施する。また、⑥及び⑦は新規要求(令和6年度から実施を想定)である。						
事業概要URL	-						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		令和5年度第1次補正予算	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	-	-
		執行額(G)	-	-	-	-	-
執行率(%) =(G)/(F)	-	-	-	-	-		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	-	-	-		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
				-			
	計(A)	-	-				

活動内容① (アクティビティ)		本事業では、様々な行政手続のオンライン申請を可能とする汎用申請APIや職員の審査業務を支援する機能に加え、行政機関が保有する情報やユーザーが任意に登録した情報をオンライン申請で活用する申請情報プレ表示機能を整備する。								
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		申請情報プレ表示機能の対象となる手続を拡大する。	申請情報プレ表示機能が利用可能な行政手続数	活動実績	手続	-	-	-	-	-
				当初見込み	手続	-	-	-	-	10
↓		成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)								
		申請情報プレ表示機能は、マイナポータルにおいて令和7年度に公共サービスメッシュと連携したサービスを開始することで国民の手続負担軽減の効果が発現することから、「マイナポータルにおいてプレ表示機能を利用可能な手続数」を短期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
		マイナポータルにおいて申請情報プレ表示機能を活用したオンライン申請手続を開始する。	マイナポータルにおいて申請情報プレ表示機能が利用可能な手続数	成果実績	手続	-	-	-	-	
				目標値	手続	-	-	-	10	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		・申請情報プレ表示機能 登録マスタ数(システム集計)								
↓		成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
成果目標及び成果実績①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
		-	-	成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		-								
↓		成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 8 年度	
		フロントサービスAPI基盤と連携する民間サービスを拡大する。	フロントサービスAPI連携と連携する民間サービスの数	成果実績	社	-	-	-	-	
				目標値	社	-	-	-	20	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		・フロントサービスAPI基盤 API利用許諾サービス数								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								

令和4年度	2022	デジ	21	0001	31														
資金の流れ (資金の受け取り先が何を 行っているかについて補足する) (単位: 百万円)		<pre> graph TD A[デジタル庁] -- 委託 --> B[民間事業者] </pre>																	
		費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載																	
チェック																			

支出先上位10者リスト

支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載																	
チェック																	